

「放射線と地域環境」福島研修
注意事項

研修日程：

- ・10月27～30日（27日は移動のみ） 詳細は別紙のとおり

第一原発見学の注意：

- ・別紙のとおり

福島への移動：

- ・10月27日(日)の高知からいわき(福島)への移動は各自で。切符等の手配・購入も各自。
- ・いわき到着時に百田(下記のメールアドレス)へ連絡。

現地集合：

- ・10月28日(月) 9:00にJRいわき駅改札口周辺
- ・時間までに集合できない場合は百田へ連絡。

受講者で手配・購入して欲しい項目

- ・以下の項目(日程案で黄色で強調した部分)は学生で手配・購入として依頼済み。①～③以外は教員が準備。

- ① 高知・羽田間の往復航空券
- ② いわきでの宿泊(10月27日 1泊)
- ③ 羽田からいわきまでの移動(鉄道やバスを組み合わせると4,000円程度)

自己負担：

- ・研修後に精算
- ・20,000 - 25,000円 (①+②)程度

持参物・服装等

- ・保険証や(必要に応じて)常備薬。
- ・福島第一原発見学に必要な身分証明書。
- ・徒歩での移動や屋外での見学があり、天候によってぬかるみの上を歩く可能性があります。天候や気温を確認し、適切な準備(雨具、履き物等)をして下さい。

緊急連絡先

百田 佐多生

momota.sadao@kochi-tech.ac.jp

090-3429-9494

搭乗機 高知→羽田；Oct./27 ANA566

羽田→高知；Oct./30 ANA569

いわき宿泊地(Oct./27) グランパークホテル パネックスいわき

2019年度『放射線と地域環境』 福島研修

: Oct./21/2019 現在

旅程

: Oct./21/2019 現在

日時	内容	移動手段	交通費	メモ
2019/10/27	移動日			
	各自宅から出発			「いわき」までは各自で移動
	移動 高知→羽田	Air (JAL or ANA)		27日中に「いわき」にたどり着けば良い
	移動 羽田→東京	モノレール + JR		
	移動 東京→いわき	高速バス or JR		
	宿泊 「いわき駅」周辺			
2019/10/28	研修1日目			
9:00	集合 JRいわき駅 改札口			
9:22 - 10:00	移動 JRいわき→富岡			
10:14 - 10:21	移動 富岡駅→サクラモール診療所前	路線バス or 徒歩		
10:30 - 14:50	研修: 福島第1原子力発電所 (大熊町)			研修中に昼食
	移動 廃炉資料館(富岡)→請戸	貸切バス		
15:00 以降	研修: 請戸小学校・大平山 研修: 請戸漁港			
- 18:00	移動 請戸→いわき駅 ミスド前 宿泊 いわき駅周辺	貸切バス ~ 80 min.		
2019/10/29	研修2日目			
8:20	集合 JRいわき駅 ミスド前			
8:30 - 9:30	移動 いわき→環境創造センター(三春)	貸切バス ~ 60 min.		
9:30 - 12:00	研修: 福島県環境創造センター			受入了承済み・時間調整中
	移動 環境創造センター→リプルンふくしま(富岡)	貸切バス ~ 80 min.		移動中に昼食
14:00 - 15:30	研修: リプルンふくしま			受入了承済み・時間決定
15:30 - 16:30	移動 富岡→いわき駅ミスド前 宿泊 いわき駅周辺	貸切バス ~ 60 min.		
2019/10/30	研修3日目			
7:20	集合 JRいわき駅 改札口			
	移動 いわき→水戸	JR 特急ときわ 64号 2710円		7:39 - 8:47
	移動 水戸→大洗	鹿島臨海鉄道大洗鹿 330円		9:10 - 9:26
9:30 - 12:00	研修: 千代田テクノル 大洗研究所			受入了承済み・時間調整中
12:00 -	昼食 千代田テクノルの方々と			
	移動 大洗→水戸	鹿島臨海鉄道大洗鹿 330円		
	移動 水戸→東京	JR or バス 2310円		水戸あるいは東京駅で解散
	移動 浜松町→羽田	モノレール 490円		
	移動 高知→羽田	Air (JAL or ANA)		
	高知空港			

福島第一ご視察に関する留意事項

2. 本人確認について

(1) 本人確認で認められている身分証明書は下記の5種類となります。いずれも所持をされていない場合は、必ず事前に視察調整窓口までご相談下さい。

①運転免許証

②パスポート

③マイナンバーカード（写真付）

④写真付き住民基本台帳カード

⑤在留カード（特別永住者証明書を含む）

※ **身分証明書の有効期限が切れているものは認められません。**

※ **上記以外の証明書（運転経歴証明書、船舶、国際ライセンス免許等）は認められません。**

(2) 視察日当日に本人確認をさせていただきますので、**必ず提出されたご視察者名簿で選択した身分証明書の原本（写しは不可）を持参**して下さい。

また、身分証明書の写しを取得させていただきますので、ご承知おき下さい。

(3) **当日、身分証明書の原本をお忘れになり、本人確認ができない場合には、発電所内へ入ることが認められません。**

5. その他の注意事項（必ず視察者全員がお読みください。）

(1) 災害・トラブル事象等発生時の対応について

- ・自然災害、悪天候、発電所内でトラブルが発生した場合は、防護装備の緊急着用、視察内容の変更や中止、発電所からの緊急避難等の措置が取られる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・視察中や視察前に体調や気分が悪くなった場合は、気兼ねなく速やかに案内者にお申し付けください。（発電所内での体調不良者発生は、通報事案となりプレス対象となります）

(2) 発電所内への撮影機材の持ち込みについて

- ・発電所内は、カメラ等撮影機材の持ち込みは禁止となっております。
- ・携帯電話やスマートフォン等、撮影機能のある機器についても持ち込みを禁止させていただきます。
- ・当日は、案内者がカメラを携行いたしますので、撮影のご要望がありましたらお申し付けください。核物質防護管理上問題ないことを確認した後に写真データを送付させていただきます。

(3) 報道関係者について

- ・報道関係者の同行は原則としてお断りしております。

(4) 服装について

- ・**服装は、『長袖』及び『長ズボン』を必ず着用または持参して下さい。**
- ・万一の放射性物質の肌への付着を極力避けるため、肌の露出のある半端丈（七分袖、裾、穴あき

古着等) やスカート、素足での発電所内への入構はできません。

- ・足元は靴下を着用の上、靴は、靴底が平らなもの(サンダル、下駄、ヒールのある靴は不可)でお越し下さい。尚、視察ルートによっては厚手の靴下を履いて頂くようお願いすることがございます。

(5) 放射線管理について

- ・放射線管理が必要な区域へ立ち入るため、当社の指定する放射線防護装備および個人線量計の着用をお願いします。
- ・発電所内には高線量エリアがあり、様々な廃炉作業が行われていることから、視察中は案内者の指示に従って行動して頂きます。案内者の指示に従って頂けない場合は、視察者の安全の確保や法令遵守の観点から視察を中止させて頂きます。

※ 放射線量が通常より高い区域(300 μ Sv/h程度)を通過することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。

- ・放射性物質による身体への汚染が無いことを確認するため、体表面モニタを通過して頂きます。これは、機器による自動測定となりますので、案内者の指示に従って測定をして頂きます。
- ・皮膚に創傷のある方は、皮膚から体内に放射性物質を取り込む可能性が否定できないため、視察できない場合があります。

・6ヶ月以内に医療機関にてR I投与等の放射線治療をされている方は、汚染検査の時にR I投与剤の体内残留の影響により誤検出する場合がありますので、事前にその旨を連絡して下さい。

※ この場合は、R I投与の理由と投与日等をご連絡頂くこと、また体内残留等不明な場合は、発電所内入域前に身体スクリーニングを実施させて頂きます。

※ 治療中の方については、発電所内視察をご遠慮頂くこと、また治療完了の方についても、体調回復期間を考慮して6ヶ月としています。

※ 過去の事例；ヨウ素125線源使用(永久挿入)による治療患者で、臀部付近、GM管で1500カウント(約10Bq/cm²相当)の視察者がおりました。

(6) 身体的な配慮について

- ・視察をされる上で配慮が必要な持病、身体的障害をお持ちの場合、支障のない範囲で事前に連絡して下さい。(ペースメーカー等)
- ・万一の場合には可能な範囲で応急処置やサポートをさせて頂きますが、あくまでも廃炉作業の現場であることを理解して頂き、最終的にはご自身の責任で対処して頂く必要がありますのでご了承下さい。

(7) 手荷物、貴重品(装飾品含む)、飲食物等について

- ・手荷物、貴重品(装飾品含む)等は、極力発電所内に持ち込まないようお願いします。

放射性物質が付着して汚染が確認された場合には、返却出来ない可能性があります。

- ・手荷物や貴重品(装飾品含む)等は、会議室もしくはロッカーで施錠管理して厳重に保管します。

※ 天然鉱石を含む数珠ブレスレット、年代物の時計、磁気ネックレス等の装飾品は、自然放射線の影響により、汚染検査時に誤検出の一因になりますので、発電所内への持込みを禁止します。

- ・飲食・喫煙については、発電所内の指定場所にて可能ですが、視察者については、飲食物(飴、ガムかみのまま入域厳禁)の持込みを禁止します。